

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	水田農業構造改革対策事業			
予算科目	6款 1項 4目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 農業の振興			
所管課情報	担当課: ブランド推進課		電話番号(内線): 983-6350(706)	
記入者情報	所属長: 米湊 誠二		担当責任者: 向井 裕臣	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	伊予市水田台帳に登録されている水田の所有者、耕作者			
根拠法令等	伊予市水田農業推進事業補助金交付要綱、水田農業経営確立対策事業費補助金交付要綱			
事業の目的	米の需給調整を効果的に推進し、担い手の確保・育成、余剰水田の有効活用に資する戦略作物である麦の生産拡大等を集落単位で推進する。			
事業の内容	水田農業構造改革対策事業を实践する伊予市農業再生協議会への推進補助であったが、平成24年度は一部が麦生産拡大整備事業補助へ、平成25年度からは一部が新品種・戦略作物等導入経営基盤強化事業補助事業へ変更			
改善策の具体的な取り組み(当初)	余剰水田活用の観点から事業効果は高く、引き続き適正な事業実施に努めるのみである。なお、昨年度に報償費の削除を実施した。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,691	2,694	158	2,328
	人件費	1,627	1,590	795	1,590
	合計	0	4,284	953	3,918
人件費内訳	人工数	0.20	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,627	1,590	795	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	316	926	0	703
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	3,002	3,358	953	3,215

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
はだか麦生産面積	ha	57.94	59	-	59

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	1,196	1,196	1,196	1,196	0	4,784

成果指標				
成果指標	当該年度のはだか麦生産面積／前年度のはだか麦生産面積 × 100			
指標設定の考え方	当該年度のはだか麦の生産面積と前年度のはだか麦の生産面積を比較することで、事業効果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100%以上	100%以上	0	0
実績	105.2%	101.8%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域連携に基づく戦略作物の導入等により水田の高度利用が図られ、水田農業経営の安定と産地活性化に大きく貢献する事業である。国の動向に注視しながら、今後も推進する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	意欲ある農業者が持続できる環境を整え、食料自給率の向上を目指し、取り組むために今後も支援を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題